

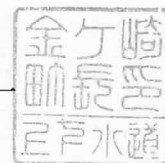
金ヶ崎町上下水道事業告示第7号

公営企業の業務の状況の公表について

「財政事情」の作成及び公表等に関する条例第4条の規定により、金ヶ崎町水道事業にかかる業務の状況について、別紙のとおり公表する。

令和2年5月29日

金ヶ崎町長 高橋 由一



- 1 公表する事項 令和元年度下期水道事業業務状況
- 2 閲覧場所 金ヶ崎町上下水道課

令和元年度下半期水道事業経営状況

I. 使用水量について

1. 下期全体水量は 1,166,812 m³で、前年度同期 (1,166,122 m³) に比べ 0.1%増加しています。上半期は前年度より 2.1%減少しましたが、下半期は前年度並みの使用状況でした。全期の水量は 2,332,288 m³となり前年度 2,356,121 m³に比べ 1%減少しています。
2. 家庭用水量については 533,693 m³で、前年度同期 (525,879) に比べ 1.5%増加しています。全期では 1,087,728 であり前年度 1,076,901 m³に比べ 1.0%増加しています。加入件数は、3月末現在では 5,746 件 (前年度 5,604 件) になっており 142 件増加しています。
3. 営業用水量については 115,419 m³で、前年度同期 (122,397 m³) に比べ 5.7%減少しています。全期では 231,951 m³であり、前年度 245,420 m³に比べ 5.5%減少しています。
4. デンソーについては 341,977 m³で、前年度同期 (342,416 m³) に比べ 0.1%減少しています。全期では 651,904 m³となり、前年度 654,244 m³に比べ 0.4%減少しています。
5. 工業用 (デンソー除き) については 111,421 m³で、前年度同期 (115,175 m³) に比べ 3.3%減少しています。全期では 221,357 m³であり、前年度 231,350 m³に比べ 4.3%増加しています。

II. 財政状態について

1. 収益的収入及び支出 (税抜き)

(1) 営業収益

下期営業収益は 171,010 千円であり、前年度同期 (157,754 千円) と比べて 8.4%増加しています。給水収益は 154,513 千円であり、前年度同期 (154,109 千円) と比べて 0.3%増加しています。全期では営業収益が 325,281 千円であり前年度 314,292 千円と比べて 3.5%増加となっています。

(2) 営業費用

下期営業費用全体では 165,095 千円であり、前年度同期 (181,598 千円) と比べて 9.1%減少しています。全期では 299,337 千円であり、前年度 313,284 千円に比べ 4.5%減少しています。主な増加要因としては、原水及び浄水費の修繕費や動力

費、配水・給水費の委託料及び総務費の委託料などです。

(3) 営業外収益

下期営業外収益は 10,996 千円であり、前年度同期 (24,120 千円) と比べて 54.3% 減少しています。全期では 21,805 千円であり、前年度 34,172 千円に比べ 36.2% 減少しています。主な減少要因は、下水道使用料金等徴収事務受託収益の予算科目変更によるものです。

(4) 営業外費用

下期営業外費用は 230 千円であり、前年度同期 (258 千円) と比べて 10.9% 減少しています。これは企業債利息の減少によるものです。全期では 463 千円であり、前年度 542 千円に比べ 14.6% 減少しています。

(5) 経常利益

下期の経常利益が 16,664 千円となり、前年度同期の経常利益は 127 千円となっています。これにより令和元年度決算では 48,137 千円の純利益を見込んでいます。これは前年度 (33,553 千円) よりも 43.5% 増加しています。

2. 資本的収入及び支出 (税込み)

主な建設改良費の支出状況は次のとおりです。(500 万円以上)

西根杉ノ崎地区配水管布設工事	12,020,800
永沢下谷地地区配水管布設替工事	17,694,600

令和元年度 損益計算書

収益的収入及び支出

(消費税抜き)

(単位:千円)

科 目	令和元年度上半期		令和元年度下半期		令和元年度全期		平成30年度全期		前年比
	金 額	構成費	金 額	構成費	金 額	構成費	金 額	構成費	
営業収益	154,271	100.0	171,010	100.0	325,281	100.0	314,292	100.0	103.5
給水収益	153,860	99.7	154,514	90.4	308,374	94.8	310,267	98.7	99.4
受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-
その他の営業収益	411	0.3	16,496	9.6	16,907	5.2	4,025	1.3	420.0
営業費用	134,242	99.9	165,095	100.0	299,337	100.0	313,284	100.0	95.5
原水及び浄水費	29,947	22.3	45,661	27.7	75,608	25.3	74,281	23.7	101.8
配水及び給水費	14,275	10.6	22,057	13.4	36,332	12.1	37,758	12.1	96.2
受託工事費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-
総係費	20,594	15.3	27,871	16.9	48,465	16.2	57,685	18.4	84.0
減価償却費	69,426	51.7	69,492	42.1	138,918	46.4	142,937	45.6	97.2
資産減耗費	0	0.0	14	0.0	14	0.0	623	0.2	2.2
その他営業費用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-
営業利益	20,029	-	5,915	-	25,944	-	1,008	-	25.7
営業外収益	10,809	100.0	10,996	99.9	21,805	100.0	34,172	99.9	63.8
受取利息及び配当金	2	0.0	13	0.1	15	0.1	13	0.0	115.4
加入者負担金	2,602	24.1	2,157	19.6	4,759	21.8	3,531	10.3	134.8
長期前受金戻入	8,071	74.7	8,048	73.2	16,119	73.9	16,887	49.4	95.5
雑収益	134	1.2	575	5.2	709	3.3	13,512	39.5	5.2
他会計補助金	0	0.0	203	1.8	203	0.9	229	0.7	88.6
営業外費用	233	100.0	231	100.0	464	100.0	542	100.0	85.6
支払利息及び企業債取扱諸費	233	100.0	205	88.7	438	94.4	542	100.0	80.8
雑支出	0	0.0	26	11.3	26	5.6	0	0.0	皆増
経常利益(△損失)	30,605	-	16,680	-	47,285	-	34,638	-	136.5
特別利益	0		0		884		260		340.0
固定資産売却益	0		0		0		0		-
過年度損益修正益	0		0		884		260		340.0
その他特別利益	0		0		0		0		-
特別損失	16		16		32		1,345		2.4
手当	0		0		0		0		-
固定資産売却損	0		0		0		0		-
過年度損益修正損	16		16		32		1,345		2.4
その他特別損失	0		0		0		0		-
当年度純利益(△純損失)	30,589	-	16,664	-	48,137	-	33,553	-	143.5
前年度繰越利益剰余金	0		0		0		0		-
その他未処分利益剰余金変動額	0		2,469		2,469		2,363		104.5
当年度未処分利益剰余金 (当年度未処理欠損金)	30,589	-	19,133	-	50,606	-	35,916	-	140.9

比較貸借対照表

(単位:千円)

科 目	平成29年度		平成30年度			令和元年度		
	金 額	構成比	金 額	構成比	前年比	金 額	構成比	前年比
固定資産	2,854,907	88.4	2,795,161	85.4	97.9	2,711,194	82.9	97.0
有形固定資産	2,846,459	88.2	2,789,412	85.3	98.0	2,708,146	82.8	97.1
土地	44,028	1.4	44,028	1.3	100.0	44,028	1.3	100.0
建物	185,028	5.7	172,313	5.3	93.1	159,619	4.9	92.6
構築物	2,457,776	76.1	2,436,287	74.5	99.1	2,380,560	72.8	97.7
機械及装置	143,166	4.4	122,475	3.7	85.5	106,743	3.3	87.2
車両運搬具	7,614	0.2	7,816	0.2	102.7	5,800	0.2	74.2
工具器具及備品	7,931	0.2	6,036	0.2	76.1	4,245	0.1	70.3
その他有形固定資産	493	0.0	457	0.0	92.7	422	0.0	92.3
建設仮勘定	423	0.0	0	0.0	0.0	6,729	0.2	皆増
無形固定資産	8,448	0.3	5,749	0.2	68.1	3,048	0.1	53.0
電話加入権	391	0.0	377	0.0	96.4	362	0.0	96.0
ソフトウェア	8,057	0.2	5,372	0.2	66.7	2,686	0.1	50.0
流動資産	373,264	11.6	476,802	14.6	127.7	557,929	17.1	117.0
現金預金	346,924	10.7	452,710	13.8	130.5	528,772	16.2	116.8
未収金	22,479	0.7	20,366	0.6	90.6	25,379	0.8	124.6
未収金貸倒引当金	△ 328	0.0	△ 300	0.0	91.5	△ 300	0.0	100.0
貯蔵品	3,089	0.1	2,826	0.1	91.5	2,878	0.1	101.8
その他流動資産	1,100	0.0	1,200	0.0	109.1	1,200	0.0	100.0
資産合計	3,228,171	100.0	3,271,963	100.0	101.4	3,269,123	100.0	99.9
固定負債	10,554	0.3	8,085	0.2	76.6	5,506	0.2	68.1
企業債	10,554	0.3	8,085	0.2	76.6	5,506	0.2	68.1
流動負債	54,849	1.7	82,974	2.5	151.3	46,544	1.5	56.1
企業債	2,364	0.1	2,469	0.1	104.4	2,579	0.1	104.5
未払金	34,165	1.1	60,384	1.8	176.7	25,719	0.8	42.6
引当金	15,000	0.5	15,593	0.5	104.0	15,444	0.5	99.0
賞与引当金	2,887	0.1	3,480	0.1	120.5	3,331	0.1	95.7
修繕引当金	12,113	0.4	12,113	0.4	100.0	12,113	0.4	100.0
預り金	2,220	0.1	3,328	0.1	149.9	1,602	0.0	48.1
その他流動負債	1,100	0.0	1,200	0.0	109.1	1,200	0.0	100.0
預り有価証券	1,100	0.0	1,200	0.0	109.1	1,200	0.0	100.0
繰延収益	342,837	10.7	327,420	10.0	95.5	315,451	9.6	96.3
長期前受金	1,060,309	33.1	1,061,779	32.5	100.1	1,065,222	32.6	100.3
長期前受金収益化累計額	△ 717,472	△ 22.4	△ 734,359	△ 22.4	102.4	△ 749,771	△ 23.0	102.1
資本金	2,554,206	79.7	2,571,420	78.6	100.7	2,573,784	78.7	100.1
自己資本金	2,554,206	79.7	2,571,420	78.6	100.7	2,573,784	78.7	100.1
剰余金	242,511	7.6	282,064	8.6	116.3	327,838	10.0	116.2
資本剰余金	795	0.0	795	0.0	100.0	795	0.0	100.0
受贈財産評価額	795	0.0	795	0.0	100.0	795	0.0	100.0
利益剰余金	241,716	7.5	281,269	8.6	116.4	327,043	10.0	116.3
減債積立金	12,917	0.4	10,554	0.3	81.7	8,085	0.2	76.6
建設改良積立金	192,883	6.0	234,799	7.2	121.7	268,352	8.2	114.3
当年度未処分利益剰余金	35,916	1.1	35,916	1.1	100.0	50,606	1.5	140.9
(うち当年度純利益)	33,553	1.0	33,553	1.0	100.0	48,137	1.5	143.5
負債資本合計	3,204,957	100.0	3,271,963	100.0	102.1	3,269,123	100.0	99.9

令和2年度金ケ崎町水道事業会計予算編成方針

1. 基本方針

令和2年度の給水戸数は、令和元年度の実績見込から若干の増が見込まれますが、給水人口は引き続き減少が見込まれることから使用水量は減少を見込んでいます。

また、奥州金ケ崎行政事務組合からの用水供給にかかる受水費が令和2年度から大幅改定されるため経営環境は厳しい状況となっています。さらには、景気の動向に使用水量が大きく左右される工業用の比率が高く、また老朽化が進んでいる浄水施設や配水管などの維持管理費や更新事業費が増大していくと見込まれることから、水道事業の経営は不安定な要素を多く抱えています。

令和2年度は、令和2年度からの10年間を計画期間とした次期「金ケ崎町水道事業基本構想（地域水道ビジョン）」のスタートとなる年であることから、引き続き水道事業の健全運営に努めていくとともに、健全で持続可能な水道事業を目指し計画の施策を着実に進めて参ります。

2. 重点事項

- (1) 安全でおいしい水の安定的な供給のために施設等の適正な管理を進め、施設・設備の計画的修繕や更新を進めます。
- (2) 料金徴収業務の民間委託等により引き続き経費節減や収納率向上などに取り組み、水道事業の健全運営に努めます。
- (3) 浄水施設や配水管の更新及び整備計画の策定を進め、施設等の更新費用を含めた、将来にわたって収益と費用の均衡がとれる経営改善方策を住民に示していきます。

3. 具体的な取り組みと目標

- (1) 引き続き千貫石水源と高谷野原水源を中心とした給水体系を維持するとともに、安全な水の安定的な供給を維持します。あわせて、施設や配水管などの維持管理・保守点検を進め、老朽施設の設備や配水管の更新及び道路改良に伴う整備に向けた事業を進めます。
- (2) 安全でおいしい水の安定的な供給を図るため、引き続き放射性物質測定を含めた水質検査を実施し、その情報を公開します。
- (3) 収納率向上のため引き続き、滞納者の給水停止を含めた納付相談・徴収業務を実施します。

- (4) 安定的な収益増と安全な水の供給のため、加入者の拡大に取り組みます。具体的には、6月の「水道週間」を中心に安全な水のPRを行うとともに、金ケ崎町の定住促進に関わる情報収集・発信に努めます。
- (5) 今後10年間の供給水量、施設更新、資金計画及び奥州金ケ崎行政事務組合からの用水供給による受水計画を含めた次期「金ケ崎町水道事業基本構想（地域水道ビジョン）」により、今後の水道事業の状況について、住民懇談会等において町民にお知らせしていきます。

令和2年度水道事業会計予算概要説明

1. 収 益

令和2年度は、令和元年度の実績見込より総給水量及び有収水量とも減少を見込んでいます。用途ごとでは団体用の使用量が微増見込みで、家庭用と営業用、工業用（デンソー除き）、公衆用の使用量が減少見込みであり、全体での料金収入は、令和元年10月から消費税が改定されたことから前年度比100.5%、1,772千円の増額を見込んでいます。営業収益全体では101.3%、4,448千円の増額となっております。

営業外収益では、加入者負担金は前年度と同程度を見込み、一般会計補助金は前年比皆増の22,313千円、長期前受金戻入は前年度比97.8%、358千円の減少を見込んでいます。営業外収益全体では、228.6%、25,606千円の増加見込みとなっております。

そのため水道事業収益は402,271千円を見込み、前年度比30,054千円の増額となる予算措置をしています。

2. 費 用

営業費用は、前年度比110.4%、34,319千円の増額となっております。このうち原水及び浄水費は、前年度比120.2%、19,748千円の増額となっております。これは受水費の基本料金改定に伴う増額によるものです。

配水及び給水費は前年度比106.9%、2,655千円の増額となっております。これは委託料及び修繕費の増額によるものです。

総係費は、前年度比120.0%、10,728千円の増額となっております。これは委託料が増額となったことが主な要因です。

減価償却費は、前年度と同程度を見込んでいます。

資産減耗費は、前年度比481.1%、1,147千円の増額となっております。

営業外費用では「支払利息及び企業債取扱諸費」が前年度比74.9%、110千円減額しています。これは企業債の利息の減によるものです。

特別損失では、前年度と同額を見込んでいます。

これらにより、水道事業費用では前年度比109.8%、33,209千円の増額になっており、収益的収入及び支出では22,107千円の黒字を予定しています。

資本的収入では、他会計負担金が前年度と同額となっております。

資本的支出では、建設改良費は送水配水施設費が前年度比105.4%、6,036千円増額、営業設備費が前年度比19440.2%、49,511千円増額となっております。これは、会計システムを更新するためです。建設改良費全体では、148.2%、55,657千円の増額とな

っています。

企業償還金は前年度比 104.5%、110 千円増額しています。

資本的収入の不足額 166,112 千円は、

過年度分損益勘定留保資金 117,275 千円

当年度分損益勘定留保資金 31,821 千円

消費税資本的収支調整額 14,437 千円

減債積立金 2,579 千円 で補てんいたします。